令和５年度　シラバス

教　科	国語	科　目	言語文化	学　年	第１学年	学　科 類　型	商業科
単位数	２単位	教科書	新　言語文化　（三省堂）				
副教材	新言語文化課題ノート（三省堂）・やさしく詳しい古典文法三訂版（尚文出版）・古文単語300＋敬語30（いいずな書店）						

学習目標	１　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができる。 ２　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

キャリア教育の視点	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

		学習計画及び内容		考　査
１学期	４月 ５月 ６月 ７月	古文の基礎 漢文の基礎 『沙石集』 故事「朝三暮四」 小説『羅生門』	古語と現代語の違いを理解し、古文や漢文を読む基礎を学びます。 物語の展開のおもしろさについて考えるとともに、用言について学びます。 言葉の持つ表現力ついて考えます。 小説を読む基本的な方法を学んで、内容を理解し、人間の心理に対する考えを深めます。	中間考査 期末考査
２学期	８月 ９月 10月 11月 12月	『伊勢物語』芥川 『十八史略』先従隗始 『なめとこ山の熊』 漢詩	平安時代の旅の様子や登場する人々の心情を理解します。また、助動詞について学びます。 示唆に富む内容を読み味わい、故事成語への理解を深めます。 人と自然・社会との関係や人の生き方について考えます。 簡潔な表現に込められた内容や情感を理解して漢詩（唐詩）を鑑賞するとともに、近体詩の表現形式について理解します。	中間考査 期末考査
３学期	１月 ２月 ３月	『徒然草』神無月のころ 『論語』 短歌	作者のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈します。 孔子のものの見方や考え方を学んで理解し、自分の考えを深めます。 歌の内容や背景などを踏まえて、物語を書きます。	学年末考査

学習の方法	『学習のしおり』８～10ページを参考にしてください。言語文化では、古文、漢文、近代以降の文章の３分野を学びます。教科書を中心に、言葉の特徴や使い方を身に付け、「書くこと」と「読むこと」を主とする「思考力、判断力、表現力等」を高めることができるように学習します。また、適宜副教材も活用し、より深い理解を目指します。さらに、定期的に古語テストを実施し、基礎学力の定着を図ります。

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、学習活動における発言や行動及びノートや提出物などにより定期考査の得点と合わせて算出します。

備考	